



平成24年 2月15日

2〜3面	公民館研究集会 功労者表彰
4面	暮らしの知識を学ぶ講座 みんなで仲良く
5面	青年の家シリーズ
6面	スポーツ・資料館写真展 ひと・すぼと・俳句・短歌
7面	子どもの詩
8面	視点・声・ペンペン草



まつかわ百景 ⑤8

「片桐ダム厳冬」

厚く張った氷が時おり不気味な音を立ててきしむ。吹きつける風が氷上を芸術的に飾っていた。

朝日新聞「天声人語」(平成23年元旦)の一部を紹介します。
：小学生5年生の女の子の詩です。題は「あたたかいこたつ」(家の家族は5人「五角のこたつならいいなあ」とおねえさん 一番あとからはいるかあちゃんは わたしと同じ所 私はやつぱり 四角でもいい)お母さんと肩を寄せ、並んで座る幸せと安心がほのぼのと伝わってきます。この詩を読んだ、この詩集を主宰されている方がこの詩に触発されて自らもこんな一行詩を作られました。(きゅうくつな幸せをわすれていました)：
日本社会は、高度経済成長のもと、物の豊かさを求め、また、便利と快適さを求め、それらがイコール幸せと考える風潮があります。しかし、これからの社会、少子高齢化、経済の停滞、また、巨額の国の借金等々で、困難な大変な時代を迎えるのではないかと考えます。そんな時、本当の幸せとは何かというしつかりした価値観をもつていなくてはいけないと思います。

主張

考えていきたいこと ～きゅうくつな幸せ～

公民館研究集会で発表された一枚の写真が繋がってきました。それは「電車ごっこ」の写真です。
子どもの頃、一本の綱で、原っぱや果樹園を思いっきり飛び回りました。笑顔いっぱいこの写真をみますと、先頭の運転手は一番背が大きいお兄さん、一番後ろは二番目に背の大きいお兄さん。多分、車掌です。真ん中に三人の小さな子。ちゃんと役割分担ができています。運転士のお兄さんも、自分勝手な運転をすると乗ってくれませんか。小さな乗客のことを思わなければなりません。小さな子は運転をしたいという憧れがありました。綱一本の電車ごっこ。ここにきゅうくつな幸せがあります。これから迎える社会では、このきゅうくつな幸せを求めていきたいと思えます。そのためヒントが、昨年度の集会以提示された写真、協議された内容の中にあるのではないかと、今後、今日の集會も含めて考えていきたいと思えます。(本年度、公民館研究集会あいつより)

公民館長 矢澤 登

ともし び 燈 火をともしよう

～学習的価値の発見から～

「燈」を書いていただきました。
 楽人の川又光明さんの勇壮な太鼓がひびくなか生き生きとした文字が書きあがり大きな拍手がおこりました。
 分散会場の移動が無い今集会では休憩時間にお茶とコーヒーを飲むことのできる喫茶コーナーを設けました。この

来年50回目を迎える松川町公民館研究集会にむけて、昨年「まちづくり」をキーワードにこれからの公民館のあり方を考えあつていきます。
 第49回の今年は趣向をこらした集会運営を考えてみました。

趣向を凝らした演出



オープンガーデンの会の手塚さん、大場さんが喫茶コーナーをデザインしてくれました。



基調講演
今こそ公民館の
出番です

公民館とは何をするとおこなのかを考えるため、県教育委員会の主任指導主事浦野栄一氏による基調講演がありました。

喫茶コーナーは、オープンガーデンの会の手塚さん、大場さんが花や植物でデザインをしてくださいました。緊張がとけるのと同時に他地区館の様子も聞けたりと情報交換の場にもなったようでした。
 初めての試みでしたが、多くの方より「温かな雰囲気だった」「気軽に参加できる雰囲気だった」など嬉しいことばをお聞きし活動の励みとなりました。

◆町村・地区設置の原則
 ・公民館は町村(市では小学校区)など「身近な地域」に設置

◆信州の公民館 7つの原点
 ・公民館は町村(市では小学校区)など「身近な地域」に設置

◆市町村自治の原則
 ・公民館は国・県の委任事務ではなく、住民と職員が協働で育む「市町村自治」が土台

都道府県別 公民館数トップ3

3位	2位	1位
山形県	新潟県	長野県
623	740	1,373

◆住民主体の原則
 ・公運審、専門部活動など公民館の「主役は住民」
 ◆地域課題学習の原則
 ・よりよい地域づくりのため、公民館は「地域課題の学習」が柱
 ◆総合的・地域づくりの原則
 ・地域に必要なことなら、公民館は「なんでも」取りあげ、取りくむ
 ◆分館協同の原則
 ・よい身近な自治会や町会における「分館」・「自治公民館」の活動を大事にする
 ◆公民館主事活動の原則
 ・熱意ある主事が「住民とともに」「腰をすえて」活動する。

◆市町村自治の原則
 ・公民館は国・県の委任事務ではなく、住民と職員が協働で育む「市町村自治」が土台

◆分散会
 一つの会場で
 情報を共有

◆基調講演
 講師の浦野栄一氏 得意の切り絵をまじえた基調講演

◆分散会
 例年、別々の会場で行う分散会ですが、会場が別れてしまいうと他の地区の様子かわからないため、今年は、トレーニングルームですべての分散会が行えるように会場の設営にも

◆分散会
 例年、別々の会場で行う分散会ですが、会場が別れてしまいうと他の地区の様子かわからないため、今年は、トレーニングルームですべての分散会が行えるように会場の設営にも

◆分散会
 例年、別々の会場で行う分散会ですが、会場が別れてしまいうと他の地区の様子かわからないため、今年は、トレーニングルームですべての分散会が行えるように会場の設営にも

公民館活動で地域に

第49回公民館研究集会 平成24年1月22日(日)



今回は1つの会場で分散会を行いました

工夫を凝らしました。一つの会場で行う事で一体感のある分散会となり活発な分散会となりました。

上大島地区公民館での、気仙沼との交流や講演会を通して被災された方への思いや現状をもとにこれからの地域のあり方を考えあつた事例、また、本館社会部の若者プロジェクトの一環として成人式実行委員会と共同で取り組んだ写真展示や松川高校との共同で取り組んだ今回の書道パフォーマンスの事例等々、地区公民館や本館専門部でおこなっている活動のねらいや良さを考えることで、学習的価値を発見し活動の意義を深めました。そして、話し合ったことを全体会で発表しあうことで、お互いの公民館の良さを学んだり、自分たちの公民館の特徴に気付くこともできました。

平成23年度 公民館功労者表彰

長年の功労を称え15人の方が表彰されました



いちおか さとし 市岡 智さん



いとう まりこ 伊藤 真理子さん



おくた しげる 奥田 茂さん



こじま しんじ 小島 慎司さん



おぎそまさひこ 小木曾 雅彦さん



しもい しょうじ 下井 昭二さん



なかじま まさお 中島 正男さん



すがぬま よしひこ 菅沼 芳彦さん



なかじま たかひろ 中島 貴裕さん



ふくよ かつゆき 福与 且幸さん



さいとう けんこう 斎藤 健幸さん



しらすわ じゅんじ 白澤 順司さん



くらた けいいち 倉田 恵一さん



しもさわ たくや 下澤 卓也さん



やもり としき 八森 俊樹さん

マナー慶弔

“知っているとおわてない”

暮らしの知識を学ぶ講座⑥ 平成24年1月13日(金)午後7時～

結 婚 式

結婚式の招待状はいただきたいあまり間をおかず早目に返信します。その時“く行”となっているところを消して“く様”とし一言添えても良



最初に間違ってお茶の出し方の例を紹介しました

お茶の出し方

お茶をお出しする時、後ろからはお客様の左側から左手で、前からは右側から右手で茶托を持ち、湯呑みの絵はお客様の方へ向けます。

知っているつもりでもイザとなると迷ったりしてしまいう慶弔のマナー。聞きたくても今さら誰に?となったり…。今回の暮らしの知識を学ぶ講座は、講師に菅沼嘉子先生をお迎えし日頃、疑問に思っていることをお聞きしました。



帯ひもも慶弔でしめ方が違います

当日は時間に余裕をもち、披露宴会場では両隣の人に声をかけ左側から入って着席します。質問の多くがのし袋などの使い方でしたが、今よく見かけるラメのような水引で豪華に飾られたのし袋には、それなりの額のご祝儀が必要とか。又、新婚旅行への心付けも“餞別”と難しい字を書くより“松の葉”ということばを使うのも控えめで良いとお聞きしました。余談ですが和装の帯ひももしめ方があり、慶事は上から入れて上へ出し弔事は下から入れて下へ出すそうです。



のし袋も用途に合わせます

葬 儀

逝去の知らせを受けたら親しい間柄であればお別れに伺うのも良いようですが、この時は何も持たずに伺っても失礼にはならないそうです。

葬儀の時の焼香の回数で迷うときは1回、多くても2回くらいで済ませると良いとか。

宗教によって神式なら榊、キリスト教は百合などのお花といろいろ違ってきます。

ここでものし袋の質問が出ましたが、亡くなってすぐの葬儀では何も絵柄のない御霊前が宗教の別無く使えるようです。キリスト教は“お花料”というようです。

時々見かける黄色ののし袋も法事などで使用できるので用意されるのも良いそうです。

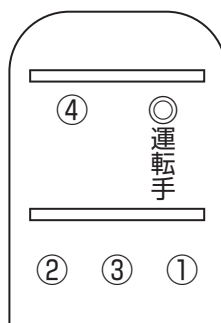


宗教によってのし袋も違います

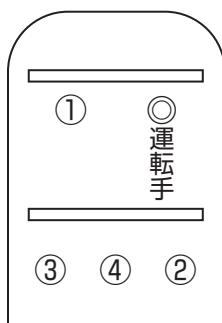
席 順

車に乗るときの席順は、タクシーと自家用車でかわってきます。タクシーに乗る場合には後部座席の右側が一番上席になりますが、自家用車では助手席が上席になるそうです。(右図)

タクシー



自家用車



今回の講座で、知っているつもりだったことがよくわかりました。目からウロコとはこの事です。質問に答える菅沼先生の分かりやすいお話をもう一度お聞きしたいと思います。

問題
考える
みんな
で
権考
人
を
仲
良
く

友達の形

松川中 林 由似子

「友達」には、様々な形があると思います。私が考える、「3つの友達の形」について、まとめてみたいと思います。

1つ目は、「クラスメイト」という友達です。私のクラスの友達は個性豊かな人が沢山いて、毎日が明るく楽しいです。クラスの友達とは、世間話しや、ちょっととした相談など、気軽にできる事が良い所です。

2つ目に、「共通の趣味を持つ友達」です。『共通の』趣味をもっているということは、たったそれだけのことでその人同士にしかわからない話しや、一番の理解者だったり。他にも理由はあると思いますが、私は、好きな物の話しが共にできるということは、クラスの友達とはまた違った良い所があります。

3つ目は、「なんでも言い合える友達」です。『なんでも』とは、先の2つ友達には少し遠慮をしてしまうことでも、素直に正直に面と向かって、相手にとって一番良いと思うこ

とが言えます。私はそうすることによって、声に出さなくても思いが通じたり、お互いの信頼が厚くなったりすると思います。

私が思う「友達」の形を3つ挙げましたが、どんな友達にも、先輩や後輩などにも共通するものは、「親しき仲にも礼儀あり」という言葉の通り、「礼儀



と「気づかい」だと思えます。仲の良い友達には、ついっ忘れちゃう「礼儀」を大切にしていき、これから先も、良い人間関係が築けるようにしていきたいです。

『友達』

松川中 栗原尚吾

僕は中学校に入ってから、部活の先輩など、たくさんの

人と関わるようになりました。そして、友達がいてよかったなあと思った場面を2つ紹介したいと思います。

1つ目は、勉強でわからない所があった時に、自分が納得いくまで教えてくれた事です。聞いて分からないと言っても、いっしょに考えてくれたりするので、とってもうれしく思います。なので、できるだけ自分も、友達に聞かれたら今の自分が出せる精一杯の力で、教えてあげたいと思います。

2つ目は、何か自分に仕事を任せられた時、それを手伝ってくれる事です。自分は、級長の学年の長をやっていたので何かと色々やらなくてはいけません。その中で、みんなの前でしゃべらなくてはいけない時があります。自分は、その場で話す言葉を考えることが苦手でいつもまとまらずに困っています。その時に、自分の話したい事や伝えたいことをまとめてくれたり、アドバイスをしてくれることが、とてもうれしいです。

この2つ以外にも、友達がいてよかったなあと考える場面がたくさんあります。なので、これからも友達を大切にしていきたいです。

生涯教育のメッカ

松川青年の家だより

そば打ちに挑戦 (その五)

そば打ちに挑戦

はぎに干したそばも乾いたので、11月19日にはこのシリーズで最も楽しみにしているそば打ちを行いました。はじめに全員でそばの穂を手でしごいて実をもぎとり、それを子どもたちが石臼を挽いてそば粉にするという方法で進めました。臼の回りに少しずつそば粉がたまってきたので、これでだんごを作ることにしました。一方、そばうちには、あらかじめ工場ですば粉にしてもらったものを使いました。



今回、熊岡所長の指導で挑戦したのはそば粉八に対し強力粉が二という二八そばです。最初に粉を量りとったあと、水を全体にいきわたるようにかき混ぜました。その後、体重をかけながら手のひらでしっかりとこねました。それを、のし板とのし棒を使って大きな薄い円盤にして、それを折りたたんで包丁でできるだけ細くなる

ように切りました。最初は恐る恐る切っていた人も、しばらくすると手つきも良くなってスビードも上がり、見事なそばが出来上がりました。太さにムラはあったものの、「今まで食べたそばの中で一番おいしい。」という声が聞けるほど、とても美味な手打ちそばでした。



子どもたちはそばだんご

大人がそばうちで夢中になっている間子どもたちはそば粉と白玉粉を練ってそばだんごに挑戦しました。粘土遊びにも似ているので、大きさが形がちまちまちでした。あんこやみたらしのたれをつけると、そばの風味がいっぱいつまったおいしいだんごになりました。こうして、自分たちで育てたそばの収穫をしたり、その味を十分楽しんで、みんなで栽培体験教室でした。

最後になりましたが、畑を貸してくださった大沢北部の前田敏男さん、足踏み脱穀機や石臼を貸してくださった松川北小学校に心より感謝申し上げます。

室内スポーツ

真つ盛り

松川町自治会対抗 バドミントン大会

1月15日(日)、町民体育館にて松川町バドミントン協会主催による混合ダブルス団体戦が8チームにより行われました。結果は次の通りです。

- 優勝 滝の沢
- 準優勝 福与
- 第3位 城北

名子地区公民館 卓球大会

1月29日(日)に名子地区公民館卓球大会が町民体育館アリーナで開催され、男子15チーム、女子9チームが参加しました。結果は次の通りです。

- 男子【りんごの部】
 - 優勝 下垣外北部
 - 準優勝 名子中部
 - 第3位 北垣外A
- 男子【なしの部】
 - 優勝 北垣外B
 - 準優勝 北名子
 - 第3位 城北A

女子の部

- 優勝 名子北部
- 準優勝 城北
- 第3位 下垣外北部

スポーツ フェスティバル

1月28日(土) 町民体育館アリーナで本館体育部主催のスポーツフェスティバルが開かれ、次の軽スポーツを楽しみました。

- ワンバウンドふらばるバレー
- 囲碁ボール
- チャンスボール

おわび

第579号(平成24年1月号)の6面「スポーツ」欄で掲載に誤りがありました。以下のように訂正してお詫び申し上げます。

松川町男女別ダブルスバドミントン大会
〈女子の部Aブロック〉
(誤)

- 第3位 松上 霞・林 慧里
- (正)
- 第3位 松上 霞・林 慧里



震災から11ヶ月が過ぎました。

資料館では、被災地の今の状況の写真展を開催しています。開催にあたっては資料館の酒井さんが次のような思いを述べられました。

東日本大震災から10ヶ月を過ぎた今、厳しい冬の中、過酷な状況にある被災地の皆さんが如何にお過ごしであるのか、心がかりです。震災直後、被災地の方々の強さ、秩序ある行動と助け合いの精神に感動し、ただただ頭を垂れるばかりでした。そうした中において今、被災地の皆さんの真の悲しみ、苦しみ、悔しさ、怒り、そして抱かれています喪失感が計り知れないほど大きなものであるということに、私たちは今、改めて気付かされています。今、私たちにでき

ることは、被災地の皆さんの声に耳を傾け、どんな言葉も受け止め、寄り添っていくことです。辛く悲しい災害ですが、この事実を忘れることなく、また悲しみ・苦しみを共に分かち合うため、ある被災地のほんの一部の風景ですが、ここに写真展示します。



酒井さんが写真を撮ってきた時の様子を来館された方々に説明をしているところ

会場では、次回の訪問の際に折り鶴を届けたい為、見に来てくれた方々に折ってもらっています。



みなさんもぜひ一緒に折り鶴を折ってください

『東北・被災地の今』 町の資料館にて 写真展開催



纏まといに消防団の未来をたくして 赤須光男まことさん(馬坂)

1月8日(日)の松川町消防団出初式で見事な纏まとい振り披露されました。その纏まといを製作されたのが、馬坂で建築業を営む赤須光男まことさん(61歳)です。纏まといの作成は出初式を盛り上げようと松川町消防団応援組が企画したもので、仕事とし



築40年になる松川町中央公民館、みなさんも利用された事はあると思います。その公民館が、耐震診断の結果構造耐震判定指標を下回っている事がわか

耐震補強か改築か、松川町は町民からの意見をもとに決める事になり、昨年10月に整備方針検討委員会を立ち上げ、広報にて耐震診断の結果を載せたり、昨年



だけでなく木工クラフトが趣味の赤須さんにお声がかかったそうです。毎年、駒ヶ根市で開催されるもみじクラフトにも出展しているほど本格的に取組んでいる赤須さんはこの依頼を喜んで引き受けたそうです。仕事の傍ら約2ヶ月をかけ、4本の纏まといを製作されました。各分団の区別がつく纏まといはどんなデザインにすればいいかなど、応援組の方々と楽しみな

から話を進めたそうです。赤須さんは、纏まといという一つのシンボルができた事でさら

11月には大島、上片桐、生田地区で説明会を行ってきました。説明会の中では、中央公民

町民の意見を参考に…

松川町中央公民館

耐震補強か!!改築か!!

編集部長 松下佳史

館の利用状況・耐震補強：改築になった時の案など細かく説明をしてくれて、松川町には公民館は無くしてはならないものだと知りました。



中央公民館のロビーに展示されています

に消防団が活気づく事を願っており、「来年、新井商店街から子ども達も消防団と一緒に進めるなら、キャラクターをモチーフにした子ども用の小さい纏まといを作りたい。」と笑顔で来年の抱負を語ってくださいました。

40年前にたてられたこともあり、利用方法も変わってきて利用者からは不便に感じる場所もあるそうです。

検討委員会で

は改築が望ましい

という答申を2

月9日にしまし

た。最終的な判

断は今後になります

が、今ま

で以上に町民が集まる場所

になれば良いと思います。

こころの詩

ゆき

北小 1年 米山結菜

あやうはんをたへたり、
きのうより大きいゆきが

ふつてきたよ。

おがあさんが、

「大きいゆきは

つもりやすいんだよ。」

といつていたよ。

ずつとゆきを見ていたら、

けしきがかわって、

空をとんでいる

みだいだつたよ。

ふしぎだなあ

とおもつたよ。

おもち

北小 1年 中村朱琳

いとこのつちで、

おもちをたへたよ。

はじめに

ふかしたもちごめをたへたよ。

ほかほかして

おいしかったよ。

おもちの上に

きなこをのせたよ。

おいしかったよ。

短歌

国債

矢澤芳子 (大栢)

娘らと来し義兄の祭らる靖国の
鳥居を仰ぐ八十路坂のわれ

二十歳にて征きし息子偲び使はずに
戦時国債無効となりぬ

蔵の棚に六十年のほり被る
嫁行列の先達提灯

祇園祭子らと行きしを思いつつ
庭木の上の遠花火見る

収穫期の梨やりんごを振り落し
峽を抜けたる台風十五号

俳句

初日記

矢沢さち子 (東浦)

果樹園に囲まる住まる四方拝

母のこと見目こまやかに初日記

養生訓肝に銘じて大旦

羽蒲団も重しと母の齢かな

手袋の頭くりくり指人形

声

町史探訪の会

台城を知る

光澤 正之

幾度も訪ねたことのある台城が初めて行った場所に感じられるほどに今回の探訪は新鮮なものとなりました。

を読み進めてきましたが、昨年の12月9日、いよいよ実際に台城を探訪しました。

「町史探訪の会」は、町史を読むだけでなく、町史に記された場所を実際に探訪しながら町のことを学ぼうと活動しています。私もその会員の一人です。そして、これまで台城（大島城）について町史

現在は公園となりツツジでも有名な台城には子どもころから何度も行っていきます。そして城跡であることも知っていました。しかしどのような城であったのか詳しくは知りませんでした。

【焼き米が地面から出る城】



まちの石仏 ⑫

「甲子様」(中山)

甲子信仰の主神「大黒天」の像。東小学校の近くにある。



【金の鶏を抱いてお姫様が井戸に飛び込んだ城】
そのような話を聞いたことがあるくらいです。

今回の探訪は、城としての台城を探り、敷地内の地形の意味するもの、武田信玄によって築城されたこの城の戦略的な面などを学びました。

現在公園の入り口として使われている通路は、城として見ると「堀」の底の部分に当たります。今回の探訪では城であったこの入り口「大手門」の跡から公園に入りました。そして「馬出」や「枳形虎口」、「土橋」など、それぞれの地形を見て意味を知り、戦国時代の城跡であることを改めて感じました。

また、公園として訪れたときにはまず足を踏み入れないところにも立ち入り、「自分が敵軍だったらこの城に攻め



入ることができるのか」など、妄想も楽しみながら探訪することができました。

武田信玄が南方への勢力を拡大するために、この台城を重要な場所としていたこと。それを知っただけでも、台城がいかに歴史上貴重な史跡であるのかを考えさせられました。公園としてだけでなく、城跡としての台城をこれからも語り継ぎ守ってほしいと思います。

◎◎◎草

東日本大震災が起きてからもうすぐ1年になります。被災当日、住民を避難させるために行動し、自らは命を失った人たちが大勢おり、その行動が称えられています。その中には消防団員もいました。

消防団では、非常時には自分の身を守ることをまず教えられます。ケガをしなければその場の力になれないこともありませんが、団員も人であり、一つの命だからです。だからこそ、震災で人を助けるために命を失った人たちは称賛されるでしょう。人々から称賛されるその行動。しかし、今後災害があつた時、「消防団は命をかえりみず行動しろ」ということではありません。やはり、自分の命を守ってほしいと思います。

(光澤正之)

公民館報
「まつかわ」
第 580 号
平成24年2月15日

発行所 松川町公民館
責任者 矢澤 登部
編集人 公民館編集部
Tel 36-2622
e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp
飯田市上郷黒田121
印刷所 龍共印刷(株)